

数学科 1年 年間指導計画・評価計画

月	学習単元・内容・ねらい（時数）	評価の観点	評価規準	主な評価方法
4	○1章「正の数と負の数」(28時間) ・正の数と負の数 ・加法と減法 ・乗法と除法 ・いろいろな計算	知識・技能	正の数と負の数の必要性和意味について、それらが使われている具体的な場面に結び付けて理解している。 正の数と負の数の四則計算の方法や計算法則を理解し、その計算ができる。	定期考査 小テスト 単元テスト 行動観察
5	【ねらい】 正の数と負の数について、具体的な場面での活動を通して理解し、その四則の計算ができるようにする。	思考・判断・表現	既習の計算をもとにして、四則計算の方法を考察し、説明することができる。 正の数と負の数を具体的な場面で利用することができる。	定期考査 小テスト 単元テスト 行動観察
		主体的に学習に取り組む態度	正の数と負の数の四則計算の方法を考えようとしている。 正の数と負の数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 正の数と負の数を利用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	定期考査 小テスト 単元テスト 行動観察 提出物 宿題 自己評価
6	○2章「文字と式」(21時間) ・文字と式 ・文字式の計算 ・文字式の利用	知識・技能	文字を用いることの必要性和意味を理解し、数量の関係や法則を簡潔に表すことができる。 ・文字式の表し方を理解し、表し方にしたがって表すことができる。 1次式の加法と減法、1次式と数の乗法と除法の計算方法を理解し、その計算ができる。 数量の相当関係や大小関係を等式や不等式で表したり、読み取ったりすることができる。	定期考査 小テスト 単元テスト 行動観察
7	【ねらい】 文字を用いて関係や法則を式に表現したり、式の意味を読み取ったりできるようにするとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。	思考・判断・表現	規則的に変化する事象を、文字式を使って一般的に表すことができる。 1次式の加法と減法について、具体的な場面と関連付けて考え、説明することができる。 文字式を具体的な場面で利用することができる。	定期考査 小テスト 単元テスト 行動観察
		主体的に学習に取り組む態度	文字を用いることの必要性和意味を考えようとしている。 1次式の加法と減法、1次式と数の乗法と除法の計算方法を考えようとしている。 文字式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	定期考査 小テスト 単元テスト 行動観察 提出物 宿題 自己評価
8	○3章「1次方程式」(20時間) ・1次方程式 ・1次方程式の利用 【ねらい】 方程式について理解し、それを利用して	知識・技能	方程式の必要性和意味や方程式の解の意味を理解している。 1次方程式や比例式を解く手順を理解し、能率的に解を求めることができる。 方程式を利用して具体的な場面にお	定期考査 小テスト 単元テスト 行動観察

9	問題を解決することができるようにする。		ける問題を解決する手順を理解している。	
10		思考・判断・表現	式変形の仮定を考察し、方程式を解く一般的な手順をまとめることができる。方程式を具体的な場面で利用することができる。	定期考査 小テスト 単元テスト 行動観察
		主体的に学習に取り組む態度	方程式の必要性と意味を考えようとしている。いろいろな方程式を能率的に解く方法を考えようとしている。方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	定期考査 小テスト 単元テスト 行動観察 提出物 宿題 自己評価
10	○4章「比例と反比例」(20時間) ・比例 ・反比例 ・比例と反比例の利用 【ねらい】	知識・技能	関数や変数、変位の意味を理解している。比例や反比例の関係を式に表すことができる。比例や反比例のグラフの特徴を理解し、そのグラフを表すことができる。	定期考査 小テスト 単元テスト 行動観察
11	具体的な事象のなかにある2つの数量の変化や対応を調べることを通して、比例、反比例の関係を見だし、表現し、考察することができるようにする。	思考・判断・表現	具体的な事象から関数関係を見だし、見いだした関係について説明することができる。比例や反比例の表、式、グラフを相互に関連付けてみるることができる。具体的な事象を比例、反比例とみなし、式、表、グラフを利用して考察することができる。	定期考査 小テスト 単元テスト 行動観察
		主体的に学習に取り組む態度	比例や反比例の関係を、変域や比例定数が負の場合に拡げて考えようとしている。比例や反比例の表、式、グラフを相互に関連付けようとしている。比例や反比例について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	定期考査 小テスト 単元テスト 行動観察 提出物 宿題 自己評価
11	○5章「平面図形」(17時間) ・平面図形 ・作図 ・円 【ねらい】	知識・技能	平面上の点や直線の位置関係をとらえることができ、記号を用いて、点や直線の関係、角を表すことができる。平行移動、対称移動、回転移動の意味ときまりを理解している。垂直二等分線、角の二等分線、垂線の作図方法を理解し、その作図ができる。円の弦や接線の性質を理解している。	定期考査 小テスト 単元テスト 行動観察
12	平面図形についての理解を深めることができるようにするとともに、基本的な図形を見通しをもって作図することができるようにする。	思考・判断・表現	移動前と移動後の2つの図形の関係に着目して図形の性質や関係を見だし、説明することができる。図形の対称性や図形を決定する要素に着目して基本的な作図の方法を見だし、説明することができる。円の対称性に着目して円の接線を作図する方法を見いだすことができる。	定期考査 小テスト 単元テスト 行動観察

		主体的に学習に取り組む態度	2つの図形がどのような移動によって異なるかについて、多様な方法を考えようとしている。 作図の方法について、図形の対称性をもとにして考えようとしている。 平面図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	定期考査 小テスト 単元テスト 行動観察 提出物 宿題 自己評価
1	○6章「空間図形」(22時間) ・空間図形 ・立体の体積と表面積 【ねらい】 図形を観察、操作や実験を通して考察し、空間図形についての理解を深めることができるようにする。	知識・技能	多面体や角錐、円錐の意味やそれらの特徴を理解している。 空間における直線や平面の位置関係を理解している。 おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。 角柱、円柱、角錐、円錐の体積や表面積の求め方を理解し、それらを求めることができる。 球の体積や表面積を求めることができる。	定期考査 小テスト 単元テスト 行動観察
2		思考・判断・表現	構成要素に着目して立体の特徴を考察し、説明することができる。 空間における直線や平面の位置関係について考察し、説明することができる。 おうぎ形の中心角の大きさと弧の長さや面積にどのような関係があるか考察し、説明することができる。	定期考査 小テスト 単元テスト 行動観察
		主体的に学習に取り組む態度	立体を多面的に考察しようとしている。 角柱、円柱、角錐、円錐の体積や表面積の求め方を考えようとしている。 空間図形について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	定期考査 小テスト 単元テスト 行動観察 提出物 宿題 自己評価
2	○7章「データの活用」(12時間) ・データの整理とその活用 ・確率 【ねらい】 データを目的に応じて収集して分析し、それを表やグラフに整理し、データの傾向を読み取り、説明できるようにする。多数の観察や多数回の試行をもとにして得られる確率の傾向を読み取り、表現することができるようにする。	知識・技能	ヒストグラムや相対度数の必要性和意味を理解している。 データを表やグラフに整理することができる。 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解している。	定期考査 小テスト 単元テスト 行動観察
3		思考・判断・表現	データを分析して分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができる。 多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして、事象の起こりやすさの傾向を読み取り、説明することができる。	定期考査 小テスト 単元テスト 行動観察
		主体的に学習に取り組む態度	データの傾向を読み取り、批判的に考察しようとしている。 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を考えようとしている。 データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 多数の観察や多数回の試行によって得られる確率について学んだことを	定期考査 小テスト 単元テスト 行動観察 提出物 宿題 自己評価

			生活や学習に生かそうとしている。	
--	--	--	------------------	--